

# 柳泉園NEWS

りゅうせんえんニュース

1985. 8. 1 SUMMER VOL. 4



(柳泉園組合営プール)

## 「新しい時代に即した生活環境づくり」、柳泉園組合管理者 都丸哲也

立秋とは暦の上だけのことで、まだまだ暑いこのごろです。

当組合の昭和60年度の仕事を進める予算も決まり、只今、事業を推し進めるために精力的に取り組んでいます。

今年度も昨年度と同じように、ごみ処理施設第2工場の建設経費が予算全体の多くを占めております。

このごみ処理施設は、61年3月末の完成を目指しており、今年の11月からは試運転を開始する予定です。

時代のすう勢は、ごみを単に廃棄物として処理するという発想だけにとどまらず、ごみを資源として促え、その確保を積極的にはかる方策が求められています。

このため、ごみ処理施設も本来の処理機能を達成しながら、ごみのもつエネルギーを利用して発電並

びに余熱利用を行うこととしております。

環境対策のひとつとして、住民の皆様より、ご要望のあった温水プールにつきましては、61年4月オープンを目指して事業を進めております。

ごみ処理施設の余熱を利用した温水プールは、住民の皆様がレクリエーション等を通して体力の維持と向上を図り、交流を深める場としてご利用いただける施設です。

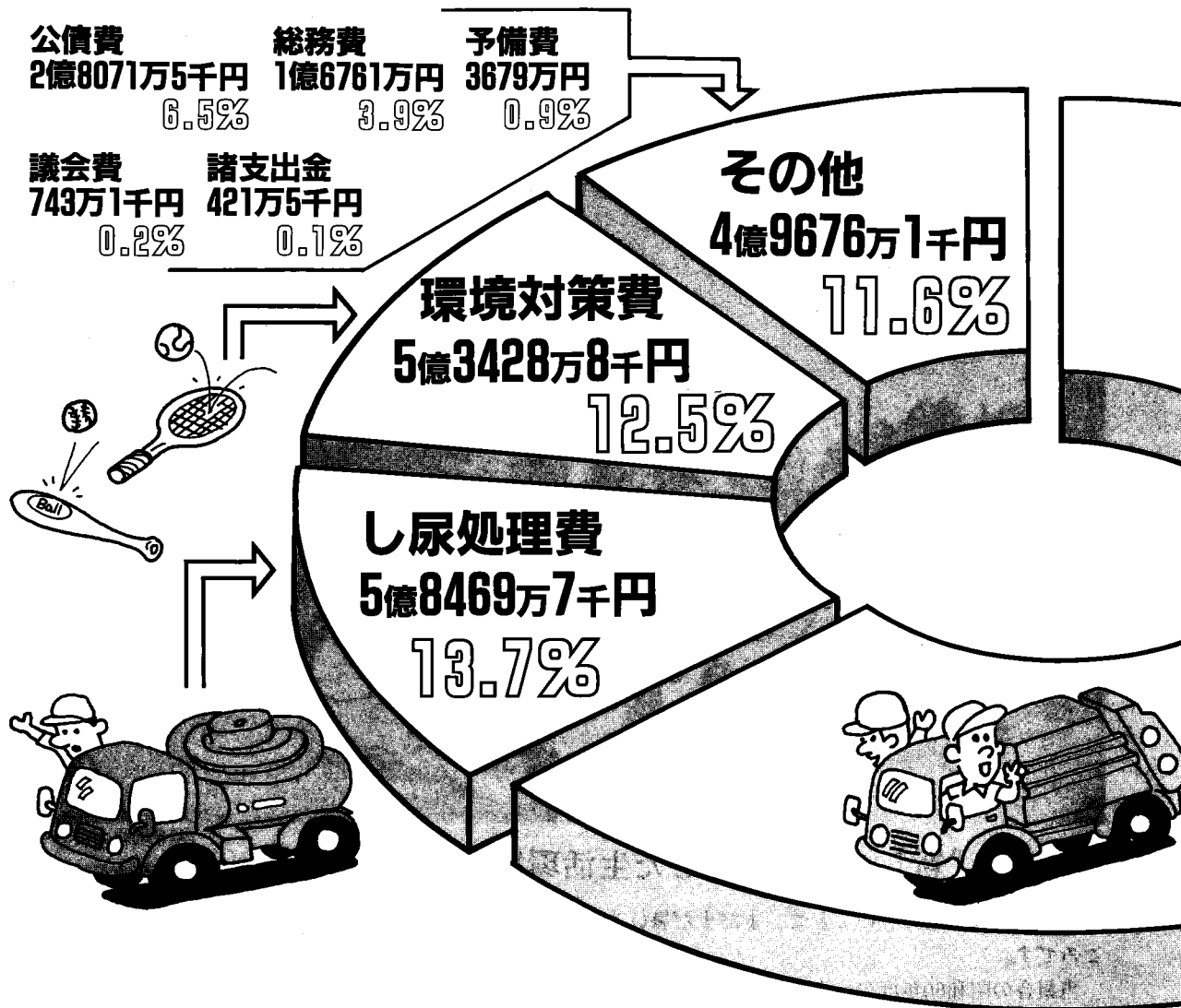
財政の事情は、今年度も依然として厳しく低迷状況にありますが、従前にも増して、経費の節減をはかり、事業の合理化に努めると共に、日々排出される廃棄物を適正に処理し、生活環境の保全に努めてまいります。

住民の皆様、今後とも清掃問題について、なお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

# 組合の予算はこうして役立てています

(昭和60年度予算の内訳)

RYUSENEN NEWS



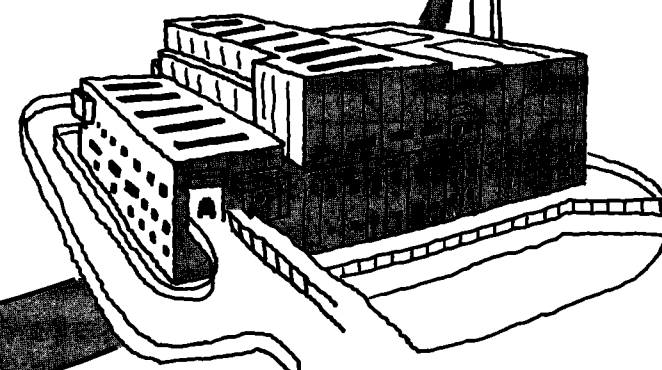
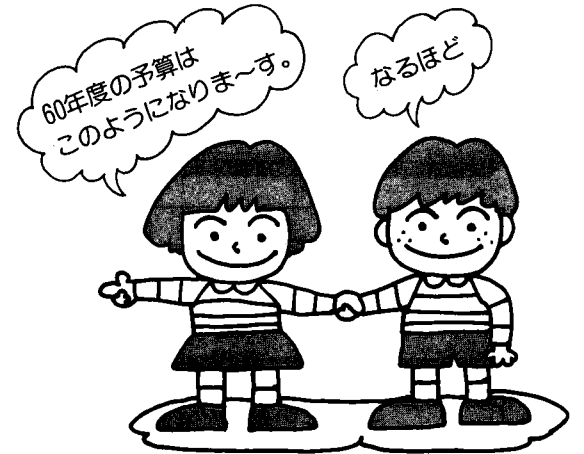
総額 **42億7399万5千円**

## ごみ処理費

26億5824万9千円

62.2%

(新炉建設工事費19億270万円を含む)



昭和60年度の事業を進めていくのに必要な予算は、総額で42億7,399万5千円です。その主な使い道は、次のとおりです。

- 議会費  
組合議会の運営経費などに743万1千円。
- 総務費  
組合の共通する事務に要する経費として、1億6,761万円。
- ごみ処理費  
ごみ処理施設の運転経費(電気代・水道代など)

定期点検、場内整備などに7億5,554万9千円。新炉(昭和60年11月より試運転予定240t/日)の建設工事費として19億270万円。建設工事には、国庫補助金8億4,665万円、都補助金7,832万5千円、組合債(借入金)8億8,740万円、一般財源9,032万5千円が財源(歳入)として予定しております。

- し尿処理費  
20年を経過した第1工場(200kl/日)の処理能力を維持するための各機器の点検や老朽個所の改修整備、工場の運転に必要な薬品の購入や電気代などに5億8,469万7千円。

- 環境対策費  
野球場、テニスコートなどの体育施設の維持経費と施設周辺整備に要する経費。更に温水プールの建設費、ごみ処理施設、し尿処理施設の運転状況を分析(大気・水質等)する経費に5億3,428万8千円。
- 公債費  
組合債(借入金)の返済として元金1億4,830万6千円、利子1億3,240万9千円。
- その他  
諸支出金に421万5千円、予備費に3,679万円となっております。

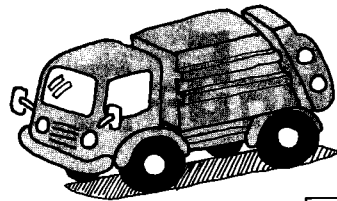
☆歳入 (単位:千円)

款	金額
1. 分担金及び負担金	1,212,747
2. 使用料及び手数料	52,671
3. 国庫支出金	856,650
4. 都支出金	92,625
5. 財産収入	14,761
6. 繰入金	145,127
7. 繰越金	135,000
8. 諸収入	355,314
9. 組合債	1,409,100
歳入合計	4,273,995

# 1年間のゴミとし尿の処理量と流れ

(昭和59年度実績)

RYUSENEN NEWS



ゴミ  
92,026トン/年

混合芥  
73,409トン/年

危険物  
18,617トン/年

可燃ゴミ  
75,225トン/年

粗大ゴミ処理施設

焼却灰  
10,697トン/年

不燃ゴミ  
12,552トン/年

資源回収  
4,188トン/年

有害ゴミ  
61トン/年

埋立  
23,249トン/年

再利用  
4,188トン/年

処理  
61トン/年

## 《ごみ処理について》

当組合では、4市から出るごみを4つに分けて燃したり、埋め立て地へ運んだりして処理をしております。

### ●燃やすごみ

ごはんの食べ残しや、野菜くずなどの台所ごみ・紙くずなどのごみを混合芥といい、可燃ごみとして、ごみ焼却施設で燃やします。

昭和59年度の実績で、1日約239トン(収集車で約239台分)のごみを燃やしており、燃やしたあとの灰は約35トンほど出ます。(焼却日数は1年で307日となる。)

約7分の1に減量、安定化したこととなります。

### ●燃やさないごみ

かん・ビンなどの不燃物のほか、プラスチック・ビニールなどのごみは、危険物として1日約64トン

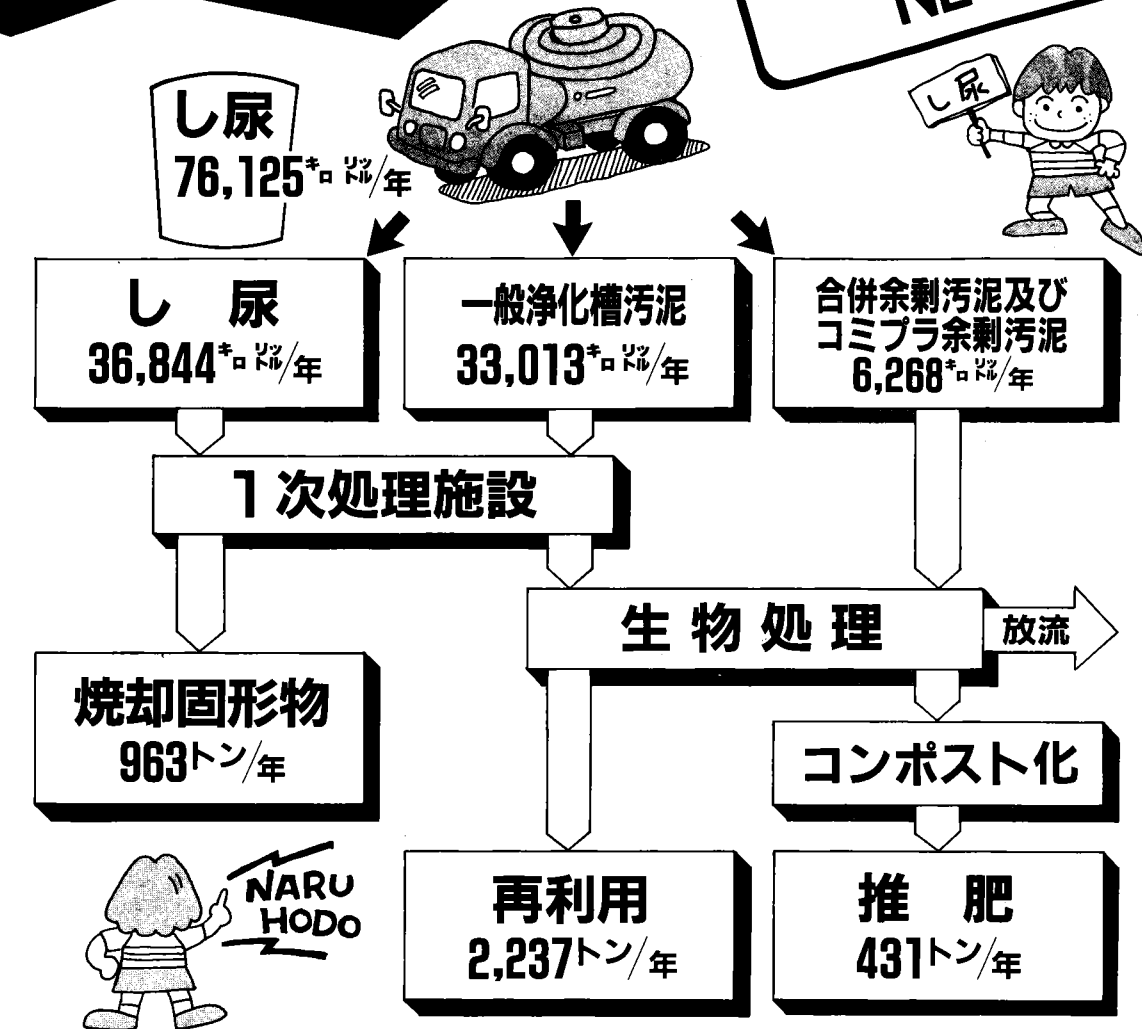
(処理日数は1年で293日となる。)を処理しますが、当組合ではこの中からかん・ビン・鉄などは、有価物として回収し、プラスチックやビニールは、燃やすと高い温度になって、燃やしづらいので、燃やしたあとの灰とともに、都下日の出町の廃棄物広域処分場に運び、埋め立て処分をしております。

### ●粗大ごみ

家具や家電品などは、日の出町の地元住民との協定によって、破碎したのちに廃棄物広域処分場に持ちこんでおります。

### ●有害ごみ

昭和59年4月以降、当組合に搬入された乾電池・けい光管・体温計などの有害ごみは、当組合で一時的保管後、北海道にある処理業者に処理委託をしております。



## 《し尿処理について》

当組合のし尿および一般浄化槽汚泥の処理量は、公共下水道の普及により漸次下降状態にあります。

●昭和59年度の処理量(処理日数は365日/年)は、し尿で日量101kl、一般浄化槽汚泥で日量90klあり、その他、余剰汚泥設備に直接持ち込まれる合併余剰汚泥およびコミプラ余剰汚泥が日量17klあり、処理量は総計208kl/日となっております。

一方、その処理については、現在し尿処理施設第1工場(処理能力200kl/日)で酸化処理方式によって全量を衛生的に処理しております。

なお、し尿処理施設で発生する余剰汚泥と合併余剰汚泥およびコミプラ余剰汚泥は、脱水した後にコンポスト施設に送り、好気性発酵後、堆肥として日

量約2トン(水分平均38%)を農地に還元、有効利用しております。

ごみ処理やし尿処理のごとは、自然(空気や水など)をよごさないように注意しながら行っております。

## 三二解説

### 燃やすごみの三成分

混合芥ともいう。台所ごみ・紙くずなどの可燃分と金属、土砂・ガラス片などの不燃分との混合物で、水分が55~65%、可燃分が25~35%、灰分が8~9%を占めている。

人口1人1日平均600g排出される。

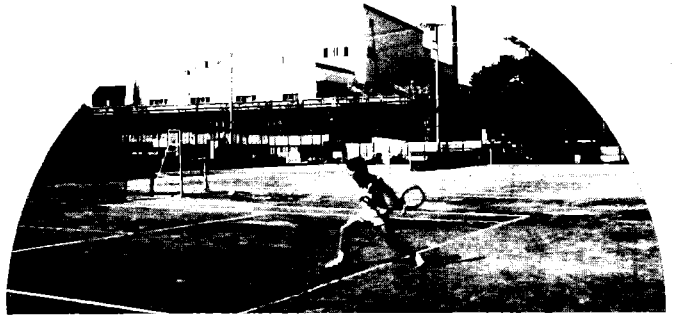
59年度当組合データより

エンジョイスポーツ  
**enjoy sports**

テニス・ベースボール

さあ、本格的なスポーツの季節がやって来ました。テニスに野球に、爽快な汗を流しエンジョイ・スポーツしましょう!!

柳泉園ではテニスコート裏に、小休憩場“あずま屋”もあります。スポーツ後のいこいのひとときにどうぞご利用ください。



☎0424-73-3121 へ申し込んで下さい

- 野球場 期間…4月1日～11月30日  
料金…1000円 / 2H
- プール 期間…7月13日～9月1日  
料金…大人100円、学生60円、子供50円 / 2H
- テニス 期間…4月1日～11月30日(冬季中も可能)  
料金…500円 / 2H



Message  
**組合からのお願い**

①ごみは、できるだけ出さないように心がけて下さい。ごみを処理するには大変お金がかかるのです。当組合だけでも1トン処理するのに約7,300円かかり、処理の他に議会費、総務費、環境対策費、その他公害対策費用を加えると1トン処理するのに10,000円を超えてしまいます。ごみが少なくなるとこの費用を他の行政費用に回すことができます。

②ごみを出す時は、「燃やすごみ」「燃やさないごみ」に必ず分けて出すようにして下さい。このことを守っていただかないと焼却炉を痛めたり、公害発生の要因となるため、この防止にも費用がかかります。

また、関係4市では有害ごみの回収も分別収集あるいは電気店等の拠点収集方法で市民の皆様をお願いしています。これらの点についてより一層のご協力をお願いいたします。

ここが柳泉園です。

管内人口	(S.60.6.1現在)
世帯数	118,406 世帯
人口	335,149 人